

2024年12月期（68期）第1四半期 決算補足資料

ピジョン株式会社

2024年5月14日

Celebrate babies the way they are



2024年12月期（68期） 第1四半期

第1四半期 業績報告 P. 3

事業別サマリ P. 6

地域別売上高、主要国EC比率 P. 10

Agenda

24/12期 第1四半期 連結PL

グループ連結では為替影響もあり売上高、総利益ともに前期比微増
営業利益は、人件費の増加や中国本土およびランシノ事業での積極的な販促費の使用もあり前期比で減少

単位：百万円	23/12期 第1四半期		24/12期 第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	23,613	—	23,749	—	<u>100.6%</u>
売上原価	12,122	51.3%	12,110	51.0%	99.9%
売上総利益	11,490	48.7%	11,639	49.0%	<u>101.3%</u>
販管費	8,086	34.2%	8,941	37.6%	110.6%
営業利益	3,404	14.4%	2,697	11.4%	79.2%
経常利益	3,791	16.1%	2,963	12.5%	78.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,438	10.3%	1,906	8.0%	78.2%

【為替レート】 24/12期 1Q実績：1ドル148.43円 1円20.65円
23/12期 1Q実績：1ドル132.39円 1円19.33円

24/12期 第1四半期 事業別損益

ランシノ事業が増収増益。中国事業は減収減益も、前第4四半期からは着実な回復が見られた

単位：百万円	23/12期 第1四半期				24/12期 第1四半期				
	売上高	構成比	総利益率	セグメント利益	売上高	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	23,613	—	48.7%	3,404	23,749	—	100.6%	49.0%	2,697
日本事業	8,873	37.6%	33.9%	439	8,734	36.8%	98.4%	33.0%	523
中国事業	8,600	36.4%	54.1%	2,669	8,356	35.2%	97.2%	<u>55.8%</u>	2,324
シンガポール事業	3,491	14.8%	38.9%	606	3,115	13.1%	89.2%	<u>39.8%</u>	353
ランシノ事業	4,538	19.2%	52.8%	347	5,068	21.3%	<u>111.7%</u>	<u>57.8%</u>	<u>432</u>
セグメント間取引消去	▲1,890	▲8.0%	—	—	▲1,525	▲6.4%	—	—	—

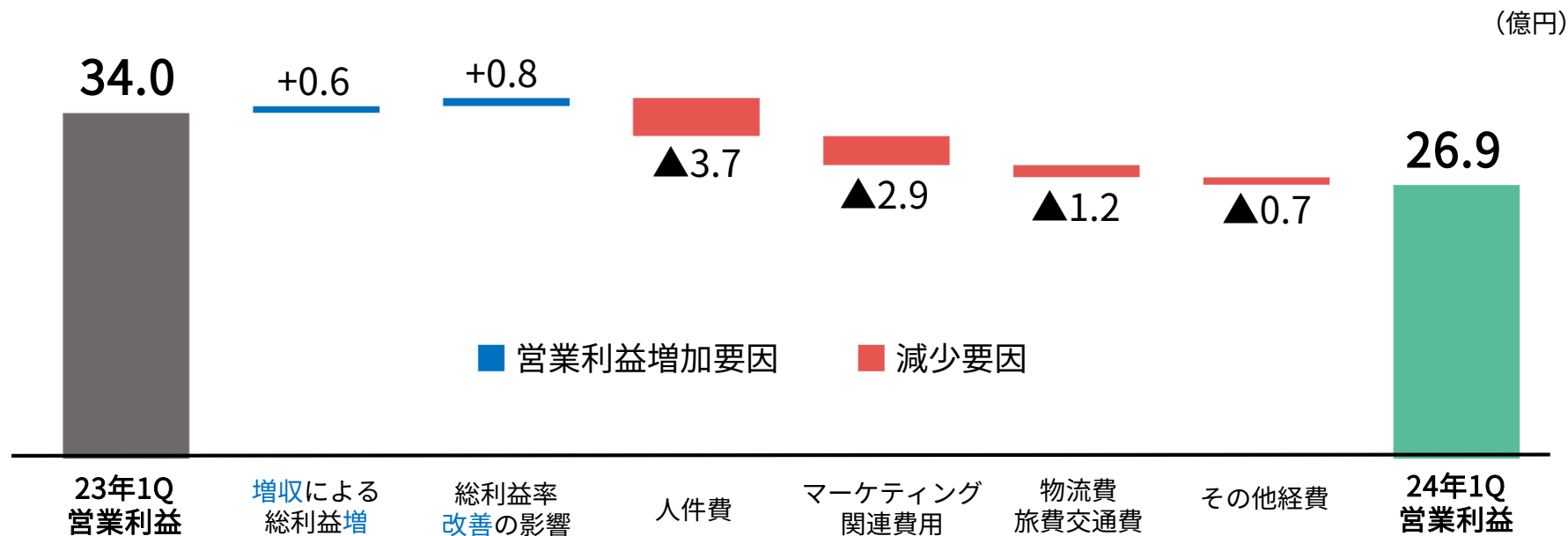
▼【参考】日本事業の主な内訳（旧セグメント区分での試算）

単位：百万円	23/12期 第1四半期				24/12期 第1四半期				
	売上高	構成比	総利益率	セグメント利益	売上高	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
ベビーケア	6,176	—	39.8%	579	6,287	—	<u>101.8%</u>	37.8%	550
子育て支援	895	—	15.9%	56	880	—	98.3%	11.2%	13
ヘルスケア・介護	1,146	—	28.8%	60	1,174	—	<u>102.4%</u>	<u>31.0%</u>	93

24/12期 第1四半期 連結営業利益 前期比増減要因

総利益額は増収および総利益率の改善効果で前期比+1.4億円。

販管費は前期比+8.5億円（為替影響が半分程度）。人件費の増加や、中国およびランシノ事業での積極的なマーケティング費用の投下もあり、営業利益は前期比▲7.1億円



24/12期 第1四半期 事業別サマリ

24年事業戦略：自社の強み・独自性を活かした新たな価値創造による収益力改善を継続

日本 事業

ベビーケアは既存・新規領域好調も、海外需要が低調により日本事業全体は減収

- ・ ベビーケアの売上高は前期比+2%の一方、ALPS処理水の影響により輸出や越境ECなどの海外需要が低調
- ・ 哺乳器・乳首の売上高は前期比伸長。昨年発売の新商品「My母乳実感」はギフト需要も取り込むなど好調
- ・ 新商品は2月より「うるおいミスト乳液」を発売。オフラインでも大々的な売り場展開により露出強化
- ・ 電動鼻吸い器「SHUPOT シュポット」の販売好調。「育児家電カテゴリ」は日本の新規領域として拡大中
- ・ ベビーケアの総利益率は円安を主とした原価高の影響等により前期比▲2.0pt悪化
- ・ ヘルスケア・介護は、新商品「薬用口腔ケアジェルプラス」を2月より発売
- ・ 訪日外客数は増加傾向も、インバウンド需要は低調



24/12期 第1四半期 事業別サマリ

24年事業戦略：中国本土の売上高回復を最優先に成長領域への投資を徹底的に実行
持続的な成長実現のため、トップブランドとして確固たる地位を構築する

中国 事業

前期比では減収減益も、本土は前年4QのALPS処理水の影響による急減から着実な回復

- 中国本土の売上高*（中国元）は前期比▲10%で終了も、ほぼ社内計画通りの進捗
- ALPS処理水の影響が一部残る中でベビースキンケアは苦戦も、哺乳器・乳首の売上高は前期比+0.4%の伸長。市場シェアもALPS処理水放出前の水準に戻るなど回復基調が見られた
- 新商品はキッズ向けのスポーツストローマグ 500mlを発売
- 各種マーケティング活動は1Qより順次再開。オンラインをメインにブランド露出やコミュニケーションを強化し、GMVは着実に増加
- 中国事業の総利益率（日本円）は、利益率の高い哺乳器・乳首の販売構成比増加により前期比+1.7pt改善
- セルアウトは累計で前期比▲3%。ECは同+5%、オフラインは同▲19%。TiktokやPDDも成長継続。EC比率は73%

*売上高：現地通貨ベースでのセルイン



24/12期 第1四半期 事業別サマリ

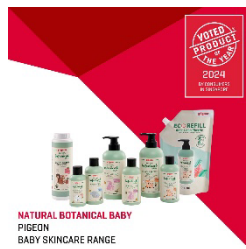
24年事業戦略：在庫水準平常化とともに、
哺乳器・乳首、スキンケアに集中し再びの成長軌道に乗る

シンガ ポール 事業

前年から継続する出荷調整により減収減益も、主要国の流通在庫平常化はほぼ完了

- ・ 売上高*はインド国内が前期比+7%、マレーシア同+22%、インドネシア同▲32%、中東▲49%
- ・ セルアウトはインド、南アフリカ、タイで前期比伸長。哺乳器・乳首の伸長などが貢献
- ・ 主要市場における流通在庫平常化はほぼ完了。一部の市場では上期中を目途に完了の予定
- ・ 基幹商品（哺乳器・乳首、スキンケア）の販売強化を継続。ピジョンの哺乳器および母乳関連用品が Supermom Brand Awards 2024のプラチナ受賞。スキンケアのNatural Botanical Babyはシンガポールで Product of the Yearを獲得するなど商品認知は着実に拡大
- ・ シンガポール事業の総利益率（日本円）は、工場の販売伸長や為替影響等もあり前期比+0.9pt改善

*売上高：現地通貨ベースでのセルイン



24/12期 第1四半期 事業別サマリ

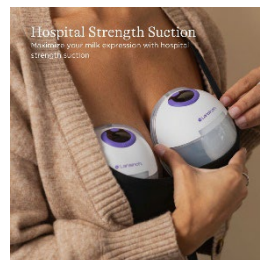
24年事業戦略：既存領域の安定成長、商品カテゴリ拡大による
ブランド拡張のための成長投資を継続

ランシノ 事業

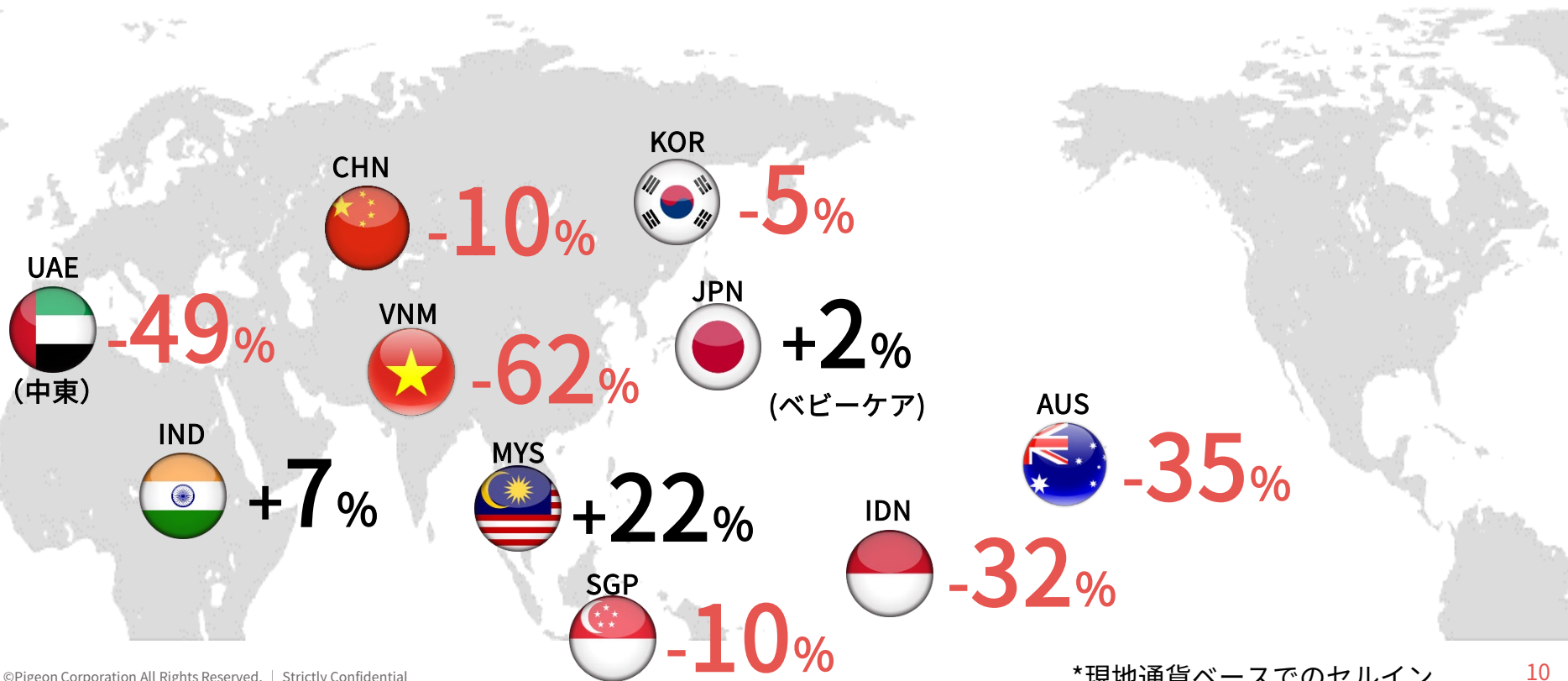
北米は特需の反動減もあったが欧州は伸長。円安効果や海上輸送費の低下により増収増益

- ・ ランシノグループの売上高*（USドル）は前期比▲0.4%。北米は特需の反動減などにより同▲0.7%も、欧州（ドイツ、UK、フランス）は乳首クリームや産前・産後ケアを中心に売上高は伸長
- ・ 新商品は2月よりハンズフリーさく乳器の新モデル「Discreet Duo」を発売（主にDMEチャネル向け）
- ・ 「産前・産後ケア」商品は北米に加え、欧州市場でも販売は好調
- ・ ランシノ事業の総利益率（日本円）は、商品ミックスの改善や海上輸送費（原価要因）の低下もあり前期比+5.0pt改善も、米国内の販売物流費（販管費要因）は高止まりが続く

*売上高：現地通貨ベースでのセルイン

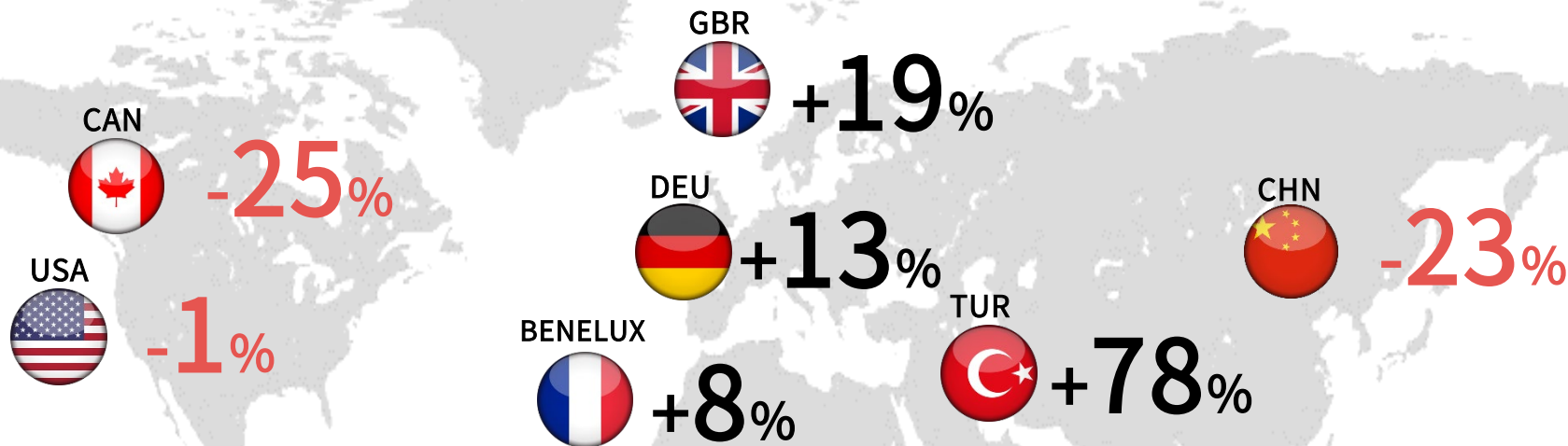


24/12期 第1四半期 ピジョン地域別売上高* (前年同期比)

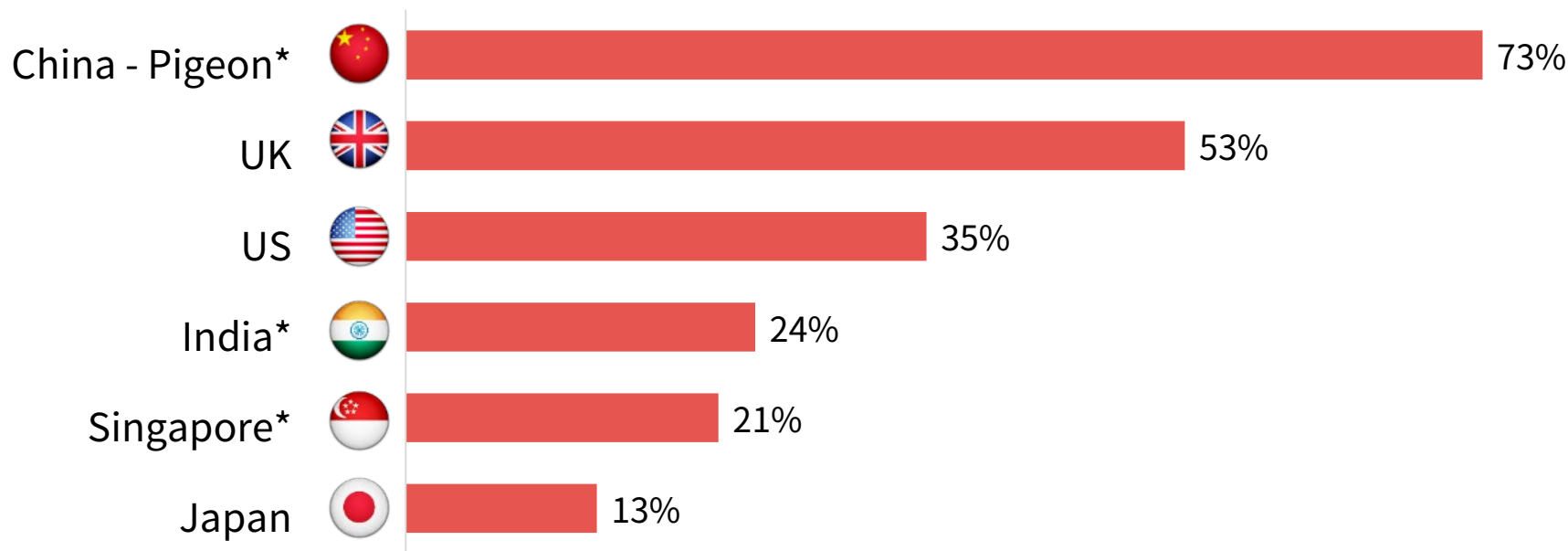


24/12期 第1四半期 ランシノ地域別売上高* (前年同期比)

Lansinoh®



ピジョン・ランシノ商品のEコマース販売比率



*：セルアウト 無印：セルイン

参考：第1四半期 連結業績における特別利益・特別損失

ピジョンホームプロダクツの新工場竣工に関連した自治体からの補助金の交付に伴い、当第1四半期連結累計期間に、補助金収入6億48百万円を特別利益に計上するとともに、この補助金収入に係る固定資産圧縮損6億48百万円を特別損失に計上

単位：百万円	23/12期 第1四半期		24/12期 第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	23,613	—	23,749	—	100.6%
売上原価	12,122	51.3%	12,110	51.0%	99.9%
売上総利益	11,490	48.7%	11,639	49.0%	101.3%
販管費	8,086	34.2%	8,941	37.6%	110.6%
営業利益	3,404	14.4%	2,697	11.4%	79.2%
経常利益	3,791	16.1%	2,963	12.5%	78.2%
特別利益	21	—	680	2.9%	3,144.6%
特別損失	25	—	676	2.8%	2,668.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,438	10.3%	1,906	8.0%	78.2%

【為替レート】 24/12期 1Q実績：1ドル148.43円 1元20.65円
23/12期 1Q実績：1ドル132.39円 1元19.33円

将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

担当部署・連絡先

ピジョン株式会社 経営戦略本部

経営戦略部

担当：金田・金塚・平塚 03-3661-4204

Celebrate babies the way they are

